



西岡自然パネル

会議報告書

平成 29 年 5 月 27 日
10 時 ～ 12 時
西岡公園

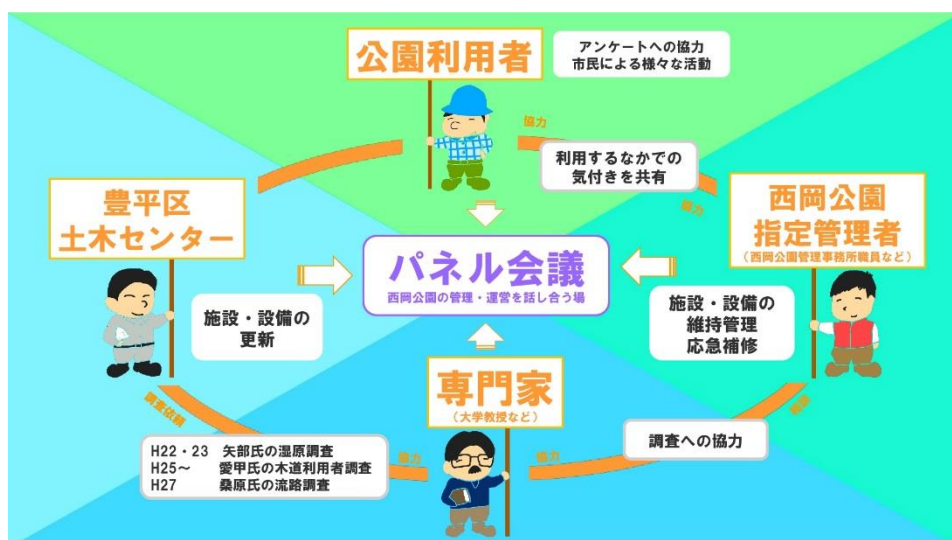
*** 議 題 ***

□西岡公園の再整備方針について（豊平区土木センター）

- ・ 西岡公園の施設の現状とさまざまな課題
- ・ 今後のスケジュール予定
- ・ 再整備方針（案）
- ・ 質疑応答
- ・ 倉庫建て替え計画変更（案）

パネルとは？

西岡自然パネルは、平成 12 年に発足した、西岡公園の維持管理について、行政と市民が話し合う場、行政とコミュニケーションを図る場として個人・団体に開かれた話し合いの場です。またパネルの場で解決できない大きな問題は、専門家の意見や調査結果に基づいて、ワークショップなどを実施して方針を決定するような進め方をしている。パネルとは「討論する場」を意味しており、定期的にパネル会議を開催し、様々な議題について話し合いを続けている。



* 参加者の所属団体（順不同）

ガイドボランティア、西岡公園植物の会、ニハルクラブ、北海道トンボ研究会、西岡の自然を語る会、日本野鳥の会札幌支部、札幌市立大学、札幌市豊平区土木部、西岡公園指定管理者（公財）札幌市公園緑化協会

計 11 名

1. 豊平区土木センターから再整備方針の説明

・施設の現状の説明

施工後 38 年経つ倉庫や、木製の展望テラス・木道・木柵、四阿、外周フェンスなど、更新が必要になっている設備が多いことから、以下の課題が浮かんできている。

1. 施設の老朽化
2. バリアフリーへの非対応
3. 湿原の一部乾燥化
4. 管理施設等の未充足（照明・排水・管理用通路等）

・今後の再整備方針（案）

※自然環境の保全を大前提とする
※老朽化した施設の改修・非バリアフリーの解消
※公園管理上の支障の解消

木道に特化しない、公園全体の施設改修

西岡公園施設改修計画策定（基本計画）

・倉庫の計画変更（案）

平成 24 年度の計画時に 215 m²の予定となっていたが、他公園の倉庫との比較と予算の面から、変更計画では 180 m²程度の面積で計画する案が提示された。

その場合でも、面積は既存倉庫よりも広くなり、市民も利用できる備品庫・作業スペースの確保が可能になる。

・西岡公園再整備スケジュール（予定）

平成 29 年度	施設改修計画策定業務（基本計画）
	倉庫実施設計
平成 30 年度	倉庫建築
	次年度実施文改修工事実施設計
平成 31 年度	エントランス広場整備
	各所改修工事
	次年度以降の実施設計
平成 34 年度	

※施設改修計画策定業務の中でワークショップを複数回設ける予定。

2. 豊平区土木センターと市民との質疑応答

豊平区土木センターからの西岡公園再整備方針についての説明を受けての市民との質疑応答。

- ① 既存の施設を撤去し、再配置する計画なのか？
→公園の機能や役割を変えずに長寿命化を図る計画で、園路を部分的にバリアフリー化させていきます。
- ② 平成 34 年度までの施設改修に木道も含まれているのか？
→公園全体の施設改修であり、木道も含まれています。
- ③ エントランスの整備は平成 31 年から始まるものなのか？
→国からの交付金で事業を進めるため、予算措置によっては予定より遅れることがあります。
- ④ 平成 27 年度に土嚢を設置した場所も含めて、東側木道の撤去後の調査が継続して必要になってくるがどのように考えているのか？
→現時点でどの程度の調査が出来るのかは断言できないが、満遍なく水が行き渡ることがベターだとは思っているので、復元できるようにワークショップでも意見をいただきながら基本計画を考えていきたい。
- ⑤ バリアフリーの道はどこまで延長することを想定しているのか？
→築堤や展望テラスまで行ける事を想定しているが、ワークショップ等で意見や知恵をいただきながら考えていきたい。
- ⑥ 木道の大改修はしないのか？
→一度に全て改修するのは難しい。今後の進め方は基本計画の中でお話させていただくことになります。

～札幌市より～

今回の説明で、西岡公園の再整備方針および倉庫の建て替え計画変更に関して同意いただけたものと考えています。

これにより、今年度は施設改修計画の策定業務を行います。西岡公園がより魅力的な場所となるよう、皆様からご意見や知恵をいただきながら進めていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。